より近く より深く より前へ

MONTHLY ZEN-NOH GUNMA

県本部通信

8

2018 August
No.196

私たち全農グループは、生産者と消費者を安心で結ぶ懸け橋になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

JA全農ぐんま

事業のうごき⑧

JA群馬担い手サポートセンター

○ＪＡ生産販売計画の実践と
　目標達成に向けた取組支援
○担い手の経営強化のための経営管理支援
○ＪＡ営農経済部門の人材育成支援
○TAC活動等ＪＡの出向く体制強化支援
○大規模経営農家・法人等の経営安定化支援
○ＪＡ野菜振興計画の目標達成に向けた取組支援
○農産物の安全・安心確保対策
○園芸作物生産実証農場の運営

畜産農産部

酪農畜産課

○生乳の計画生産の推進
○初妊牛導入推進
○素牛導入推進
○種豚導入推進

米麦特産課

○麦とろ麺特別推進
　推進目標　8,000ケース　（７月～９月）
○こんにゃく推進セット夏期特別推進
　推進目標　18,000ケース　（７月～８月）
○こんにゃく荒粉・製粉販売推進　（入札の実施）
○こんにゃく生玉予約取扱推進

園芸部

園芸販売課

○共計ほうれん草販売　（周年）
○共計チンゲンサイ販売　（周年）
○共計味にら販売　（周年）
○共計にがうり販売　（９月末日迄）
○共計オクラ販売　（９月末日迄）
○共計県統一規格露地なす販売　（11月末日迄）

販売促進課

○夏秋野菜販売促進
○もやし類・加工野菜販売促進
○花き類販売促進

園芸資材課

○ネポン暖房機第２期推進　（７月～９月）
○青果物予冷庫推進（パナソニック）
○秋用出荷資材予約推進
○秋まき用種子推進（ほうれん草・ねぎ・きゅうり他）

生産資材部

花木流通センター

○花木流通センターの売出し・フェア
　８月10日（金）～15日（水）　お盆フェア
　８月11日（土）　朝市開催！
　８月24日（金）～27日（月）　園芸準備フェア

○愛菜館の売出し・フェア
　８月８日（水）・18日（土）・29日（水）
　８の日お米フェア
　８月１日・８日・15日・22日・29日（水）
　毎週水曜日　精肉全品２割引き
　８月10日（金）～15日（水）　お盆フェア

肥料農薬課

○セルフブレンド推進
○麦肥料農薬推進
○茎葉処理除草剤大型規格推進
○バンカーシート推進

生活部

生活課

○太陽光発電推進　（周年）
○高崎ハムお中元ギフト　（６月～８月）

葬祭総合課

○会員獲得募集の推進

施設住宅課

○賃貸アパート・個人住宅推進　（周年）
○カクイチ物置・広スペースハウス推進　（周年）
○住友不動産（株）「新築そっくりさん」推進　（周年）

自動車燃料部

石油課

○ホームタンク特別推進　（８月～２月）

ガス課

○オールブランドガス器具推進　（４月～12月）
○大型給湯機特別推進　（７月～９月）

野菜振興計画について説明する担い手SC金井課長

■ＪＡグループ野菜生産対策会議

６月25日（月）、ＪＡ群馬担い手サポートセンター主催の「ＪＡグループ野菜生産対策会議」が開催され、13ＪＡ・県・中央会・当県本部担当者35名が参加しました。会議では野菜振興計画30年度目標や取組実績、野菜生産拡大バックアップ事業実施要領の説明が行われたほか、園芸作物生産実証農場の取り組み状況やマレーシアにおける県産青果物の販売等について紹介されました。さらなる野菜生産振興を目指し、担当者間で情報の共有が図られました。

■平成30年度 TAC活動研究会

６月25日（月）、ＪＡ群馬担い手サポートセンター主催の「平成30年度 TAC活動研究会」が開催され、ＪＡのTAC担当部署の管理者と当県本部担当者25名が参加しました。研究会では県内各ＪＡの管理者からTAC活動の取り組み状況と支援内容が報告されました。参加者からは、「職員が異動しても各農家に同じ対応ができるように組織としての体制づくりを行いたい」などの意見がありました。出向く営農体制整備のため、今後もTAC活動の強化に取り組んでいきます。

取り組み状況を発表するJAのTAC担当部署管理者

記者会見をする大澤会長

■会長記者会見

６月29日（金）、「ＪＡグループ群馬の取り組みに関する会長記者会見」が行われ、各連合会の役職員等が出席しました。会見で大澤会長は、「平成28年からキャベツの芯抜き等を行う青果物１次加工センターを稼働していますが、今後も消費者ニーズや物流関係者のニーズを捉えながら、生産振興、販売力の強化に努めます。各ＪＡおよび連合会・関連団体が一丸となって、目標達成に向け取り組んでいきます」と意気込みを語りました。

JA利根沼田片品トマトセンター起動式

▲起動式神事

▲テープカットの様子

6月26日(火)、「ＪＡ利根沼田片品トマトセンター起動式」が執り行われ、ＪＡ役職員と当県本部関係者他24名が出席しました。同センターは年々生産者、生産量が増えたことによる処理能力オーバーと選果機の老朽化に伴い、平成29年度産地パワーアップ事業を活用し増強工事を行いました。改修前は1日8時間の処理量が約7,000ケース(4kg／ケース)であったのに対し、改修後は約12,000ケースになり、生産者の大幅な負担軽減が期待されます。ＪＡ利根沼田の林組合長は、「今まで以上に良い選果をして、より多くの消費者に尾瀬トマトを届けたい」と話しました。

▲起動式後、試運転を見学

JAみどりの風 放映予定

GTV 48ch 放映のお知らせ

番組名／提供	放送日 ※再放送日	時 間
嬬恋高原が生む甘み！キャベツととうもろこし ／JA嬬恋村	8月13日(月)	PM 9:00～9:30
	※8月19日(日)	AM 8:00～8:30
JAバンクファミリーキャンプ ／JAバンク群馬	8月20日(月)	PM 9:00～9:30
	※8月26日(日)	AM 8:00～8:30

※タイトル・放送内容等は変更となることがあります。

矢田 優季アナ

アグリマシンフェア2018　最新農機が集結！

７月14日（土）、15（日）の２日間、「農業者所得の増大と農業生産の拡大をつうじて地域の活性化に寄与する」をテーマに、県内ＪＡ・ＪＡ全農ぐんま共催のアグリマシンフェア2018（第42回農業機械大展示会）が盛大に開催されました。今年は約40社の企業・団体が出展。最新の農機を中心に肥料、農薬などを展示販売し、２日間で約5,300人が来場しました。

会場には、ＪＡ全農が６月に発表した生産現場の声を反映した「共同購入トラクター」を展示。昨年同フェアで実施した低コストトラクターアンケートのほか、全国１万人超の生産者の意見を基に必要な機能を絞り、製造コストを削減した低価格モデルで、来場者は熱心に性能や操作方法を確認していました。

また、同フェアでは初となるドローンのデモフライトが行われました。今後農業分野に欠かせない重要なポジションを担うと考えられているとあって、来場した生産者の関心を引いていました。

▲全国１万人超の生産者の意見を反映した「共同購入トラクター」

▲ドローンデモフライトの様子

昨年好評であったセルフメンテナンス講習会も開催し、トラクターとコンバインに分け、２日間で134人が受講しました。座学終了後は、実際の農業機械を見ながら質疑応答が交わされ、長期利用への関心が高いことがうかがえました。

生産資材部の浦野部長は「生産資材コスト低減に向け、各部門でテーマを絞り込んで取り組んでいます。農機における共同購入トラクターは期待に応えられる価格を示せたと感じています。引き続き生産者の声に耳を傾け、支持をいただける取り組みを展開したい」と語りました。

消費拡大推進期間 H30.7/1-8/31

夏の蒟蒻（こんにゃく）

gunma konnyaku

詰合せセット

Aセット

セット内容
- 群馬県産生芋板こんにゃく
- 群馬県産生芋糸こんにゃく
- あく抜きいらず板こんにゃく
- あく抜きいらずしらたき
- つきこんにゃく
- さしみこんにゃく（辛子酢みそ付）
- さしみこんにゃく（柚子）
- 糖質0カロリーオフ麺（冷し中華醤油）
- 糖質0カロリーオフ麺（冷し中華ゴマだれ）

包装対応

甘味セット

セット内容
- ふるんと蒟蒻ゼリー（グレープ）
- ふるんと蒟蒻ゼリー（ピーチ）
- 黒糖蜜ときな粉の葛きり
- きな粉と青梅ソースで食べる梅の葛きり
- ミルクな寒天（ブルーベリー）
- あんみつ

包装対応 受注生産

特別セット

セット内容
- げんこつ山の玉こん（生ずり）
- 生芋こんにゃく（生ずり）
- 生芋しらたき（生ずり）
- 生芋小玉こんにゃく（生ずり）
- 刺身こんにゃく（青のり）
- 茹きだしこんにゃくのピリカラ炒め
- みそ漬けこんにゃく

包装対応 受注生産

包装対応 全セット包装致します。

受注生産 このマークの商品は、受注生産の為、ご注文からお届けまで7～10日程度お時間がかかります。

お願い
商品の都合により、パッケージ・品名・量目等がかわることがありますので、ご了承下さい。

お問い合わせ先

JA全農ぐんま 米麦特産課
TEL 027（220）2251
FAX 027（265）1415

JA SS

群馬県内JA-SS 合計2,540名様に当たる!!

夏のキャンペーン

2018年7月1日(日)～8月31日(金)

期間中、SS店頭にて購入したガソリン・軽油を2,500円以上ご購入の方に下記賞品が抽選で当たる!!

新幹線で行く!! 横浜散策の旅

ローズホテル横浜重慶飯店〈夕・朝食付き〉1泊2日ペア宿泊券 新幹線代を含む

写真はイメージです。

ペア20組 40名様に抽選で当たる!!

※ホテルのご利用日は指定日となります。※賞品のお引き渡しは9月下旬～10月末頃となります。

さらに Wチャンス!!

群馬県特産品プレゼント!

合計500名様に抽選で当たる!!

ご応募時にA賞B賞C賞がお選び頂けます。

A賞 150名様
上州牛ビーフカレー（200g×4）※写真はイメージです。

B賞 150名様
上州麦豚ポークカレー（200g×4）※写真はイメージです。

C賞 200名様
四季の麺 詰め合わせ（270g×8袋入）

さらに トリプルチャンス!!
期間中、応募者の中からくじ引きで県内合計2,000名様にネピアBOXティッシュ〈5箱〉がその場で当たる!!

応募方法など詳しくは店頭備え付けの応募用紙またはキャンペーン参加のJA-SSまでお問い合わせください。

応募用紙に必要事項をご記入の上、期間中（7/1～8/31）お買い上げのレシートを貼付し、2018年9月2日（日）までにSS店頭の応募箱にご投函ください。
※一部キャンペーンを実施していないSSもございますのでご注意ください。※当キャンペーンは景表法に基づいて実施しております。※厳正な抽選の上、9月下旬頃にご当選された方にハガキにて通知いたします。※ご当選者は当選の権利を他の方へ譲渡あるいは換金することはできません。※写真はイメージです。※当選賞品はSSでのお引き渡しとなります。※ホテルのご利用日は指定日となります。

応募用紙に領収書を貼付してください。たくさんのご応募お待ちしております!!

農業チャレンジャー

安全・安心のおいしいキャベツを消費者にお届け

JA嬬恋村田代支所管内　**茨　原　　忠** さん

就農のきっかけ

今回の農業チャレンジャーは、夏秋キャベツ日本一を誇るＪＡ嬬恋村管内でキャベツを生産する茨原忠さんです。

茨原さんは、両親とアルバイト２名とともに、約10haの畑でキャベツを栽培しています。

「高校生の頃から両親を手伝ってキャベツ栽培に携わっていましたので、卒業後は迷うことなく就農しました。いざ就農してみると両親を手伝っていた時と違って、苦労も多く、農業の大変さを実感しました。農業は天候に左右され、定植作業や収穫作業が思いどおりに行かないことも多々ありますが、その中で良いキャベツが収穫できると喜びも大きいです」と話してくれました。高校卒業後、就農して17年目になるそうです。

７品種のキャベツを栽培

嬬恋村で栽培される夏秋キャベツは、２月下旬頃から種を蒔いて苗を育てます。嬬恋村の多くの農家は、育苗を雪の少ない平野部で行っています。茨原さんも７品種の苗をその気候に合わせて、安中市や吾妻郡東吾妻町、長野県東御市で育てています。そして、４月下旬から畑への定植作業を行い、収穫は６月下旬から10月中旬頃まで続きます。最盛期には、１日に1,000ケースから1,100ケースを出荷しているそうです。

青年部の活動で地域を活性化

ＪＡ嬬恋村青年部は、管内の生産者130名で構成され、茨原さんは今期の部長を務めています。青年部や各支部では、定期的に市場視察などを実施しています。「昨年８月、田代支部主催の東京青果㈱の市場視察に参加し、市場関係者とキャベツの市場動向などについて情報交換を行いました。また、11月には茨城県古河市のキャベツ産地の視察に参加し、キャベツが年間を通して栽培できることや流通面での違いがあることを知りました。青年部全体の夏季行事としては、９月に村内の各圃場を見回り、意見交換会を予定しています」と青年部の活動にも熱意を持って取り組んでいます。茨原さんに今後について伺うと「適期収穫に努め、８玉入りサイズを中心に品質の良いキャベツを安定供給し、安全・安心でおいしいキャベツを消費者にお届けしたい」と抱負を語ってくれました。

青年部長として若手農家の先頭に立ち、地域の活性化に努める茨原さんに、今後さらなる活躍が期待されます。

Profile

茨　原　　忠（いばら･ただし）さん

1982年生まれ　35歳

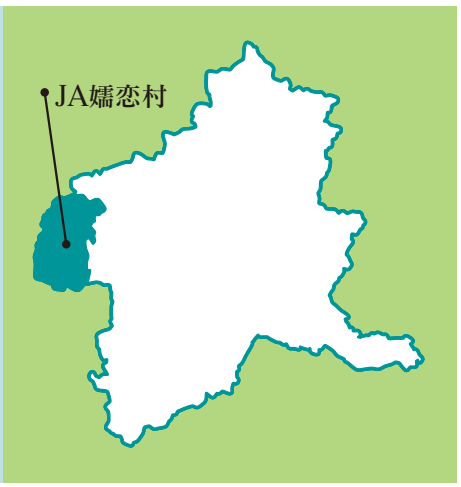
ＪＡ嬬恋村青年部長

栽培面積　キャベツ……約10ha

休日の過ごし方：子供（６才と３才の男の子）と遊ぶ

趣味：スキー

好きな食べ物：キャベツ



1 この日は明け方３時頃から収穫を始めたそうです。

2 積み込みしやすいように運搬用トラクターを移動。

3 箱詰めされたキャベツを積み込みＪＡへ出荷。市場を経由し消費者のもとへ。

4 太い葉脈の軸まで生で食べても柔らかくておいしいキャベツ〝初恋〟。

がんばってまーす！

「組合員さんが安心して農業ができるように、しっかり整備！」

JAたかさき　経済部　自動車課

田坂（たさか）　肇（はじめ）さん

Profile

田坂　肇（38歳）
たさか・はじめ

趣味……スキー・バンド
（高校生の時から活動し、担当はベース）

好きな食べ物……味噌ラーメン

●職場の皆さんからみた田坂さん
「まじめで勉強熱心です。整備、検査をしっかりやってくれています。」

▲車の整備をする田坂さん

――入組して何年目ですか？

車の整備の専門学校を卒業し、入組して18年目です。

――ＪＡに就職したきっかけは？

専門学校を卒業した時に、ＪＡたかさきで働いていた親戚に声を掛けてもらいました。

――実際に働いてみていかがでしたか？

座学と現場の違いを感じました。学校で専門的な知識を学びましたが、現場で通用することは少なかったです。経験が必要だと実感し、修理経験をたくさん積みたいと思いました。

――現在のお仕事内容を教えてください。

車検や整備、車検が終わった後の検査業務を行っています。

――検査というのは、資格が必要なのですか？

検査員の資格が必要です。10年位前に取得しました。

オートパル高崎は指定整備工場になっていますので、車検の整備から検査までを行うことができます。

――心掛けていることはありますか？

整備ミスがないように１台１台丁寧かつスピーディに作業することを心掛けています。

――休日はどのように過ごしていますか？

子供と遊んでいます。７歳の女の子と４歳の男の子です。

――どのように遊ぶのですか？

公園に行って、上の子の自転車に乗る練習をしています。

――今後の意気込みをお聞かせください。

これからはハイブリット車や電気自動車がどんどん増えてくるので、勉強してそれらの知識を身に付けたいです。また、オートパル高崎は、組合員さんの軽トラックを数多く整備しています。組合員さんが安心して農業ができるように車の整備をしっかり行っていきたいと思います。

――田坂さん、これからも地域の方々のために頑張ってください。ありがとうございました！

畜産ダイジェスト

肉牛情勢

肉牛実績

（瑕疵抜き税込）（単位：円）

月			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
上場頭数（単位:頭）		平成29年	1,051.5	754.0	836.5	800.5	700.0	878.5	839.5	1,161.5	1,270.0	653.0	698.0	725.5	10,368.5	864.0
		平成30年	969.5	679.0	734.5										2,383.0	794.3
黒毛和種（去）	A5	平成29年	2,882	2,869	2,867	2,828	2,909	2,783	2,860	2,859	2,920	2,858	2,756	2,840		2,859
		平成30年	2,847	2,836	2,908											2,874
	A4	平成29年	2,632	2,559	2,469	2,511	2,492	2,371	2,422	2,501	2,561	2,457	2,460	2,484		2,501
		平成30年	2,444	2,421	2,524											2,462
	A3	平成29年	2,279	2,263	2,129	2,125	2,034	2,039	1,982	2,133	2,337	2,123	2,094	1,966		2,131
		平成30年	2,100	2,149	2,099											2,110
	A2	平成29年	2,002	1,733	1,750	1,823	1,754	1,690	1,744	1,791	1,796	1,721	1,874	1,890		1,773
		平成30年	1,902	1,802	1,944											1,865
交雑種（去）	B5	平成29年	1,966			1,943		1,939		2,077	1,979	1,934	1,808	1,944		1,960
		平成30年	1,995	1,819	1,945											1,964
	B4	平成29年	1,760	1,793	1,798	1,813	1,871	1,779	1,824	1,794	1,801	1,672	1,679	1,721		1,772
		平成30年	1,751	1,717	1,798											1,756
	B3	平成29年	1,615	1,589	1,591	1,623	1,663	1,544	1,595	1,580	1,565	1,502	1,441	1,452		1,566
		平成30年	1,568	1,529	1,581											1,560
	B2	平成29年	1,318	1,246	1,237	1,308	1,406	1,247	1,216	1,275	1,261	1,257	1,239	1,219		1,272
		平成30年	1,280	1,305	1,344											1,305

7月　渋川家畜市場市況

㈱群馬県食肉卸売市場　肉牛課

区分	性	出場頭数	成立頭数	高値価格	安値価格	平均価格	平均体重	平均日令	平均単価
子牛	雌	113	110	1,089,720	447,120	676,266	291	288	2,316
	雄								
	去	183	180	1,205,280	441,720	749,058	311	272	2,405
	計	296	290	1,205,280	441,720	721,447	303	278	2,373
成牛	雌	7	7	832,680	536,760	656,640	452	3,641	1,451
	雄								
	去								
	計	7	7	832,680	536,760	656,640	452	3,641	1,451
若齢	雌	4	4	628,560	487,080	538,650	155	132	3,469
	雄	7	7	640,440	488,160	594,925	184	134	3,225
	去								
	計	11	11	640,440	487,080	574,461	173	133	3,304
合　計		314	308	1,205,280	441,720	714,725	302	349	2,361

養豚情勢

肉豚実績

（税込）（単位：円）

月			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
総と畜合計（単位：頭）		平成29年	38,054	39,999	39,189	34,496	39,588	39,278	42,642	44,124	42,796	41,252	38,730	42,055	482,203	40,184
		平成30年	41,549	39,838	37,775										119,162	39,721
群馬	極上	平成29年	505	532	602	607	612	594	542	549	542	489	587	454		551
		平成30年	467	585	584											545
	上	平成29年	504	546	604	620	613	601	537	555	563	499	494	448		549
		平成30年	465	578	587											544
	中	平成29年	492	535	603	624	600	585	526	547	548	481	477	426		537
		平成30年	449	559	568											529
	並	平成29年	447	496	561	594	556	544	494	508	496	430	428	389		495
		平成30年	415	534	507											485
	等外	平成29年	291	297	350	400	370	355	323	331	311	298	272	248		321
		平成30年	347	398	396											380
	全体	平成29年	477	515	579	600	583	571	512	529	530	468	462	419		520
		平成30年	443	553	554											517

月平均は（総売上÷総重量）

㈱群馬県食肉卸売市場　肉豚課

JAピックアップ！

～群馬県内のＪＡの活動をご紹介～

ＪＡ赤城たちばな

規格統一図る ズッキーニ目ぞろえ会

◀規格の統一を図ろうと目ぞろえする生産者

ＪＡは５月２日、北橘営農生活センターでズッキーニ目ぞろえ会を開き、集まった生産者19人が品質確認や出荷基準を学びました。

ＪＡ担当職員が形状や色沢などの出荷規格や荷作り、収穫時の注意点を説明。「収穫時は表皮が柔らかく、傷が付きやすいので丁寧な箱詰めを心がけてもらいたい」と呼び掛けました。生産者からは「ダンボール箱を大きくできないか」などの質問が上がり、有意義な意見交換の場になりました。

ズッキーニは育てやすく管理しやすいため、管内では生産者が年々増加。８年前は３戸でしたが、現在24戸まで増え、管内の主要作物になっています。

パイプハウスを活用し、大規模産地と出荷時期をずらすことで、高値販売にもつなげています。

作付は春と秋の２回。出荷は首都圏を中心に４月下旬から始まり、７月中までを見込んでいます。

◀丁寧に箱詰めされたズッキーニ

ＪＡにったみどり

エダマメ順調　規格の徹底確認

◀見本を持って説明する職員と生産者

ＪＡにったみどりは６月21日、太田市の新田野菜集配送センターで、エダマメの目ぞろえ会を開きました。生産者やＪＡ全農、市場、ＪＡなどの関係者ら75人が参加しました。選果選別について、現物見本を使って規格の徹底を申し合わせました。

エダマメ生産部会の松島光雄部会長は「今年は比較的風害がなく順調に仕上がっています。生産者としていかに良いものを出すか、頑張っていこう」とあいさつしました。

ＪＡ園芸販売部の青木孝浩次長は規格について説明し、「しっかり洗い、よく水切りをした状態で袋詰めをしてほしい」と呼び掛けました。

ＪＡ全農ぐんま園芸販売課の宮内景太さんが、販売動向と今後の見通しを説明しました。全農青果センター東京センター青果部野菜第３課の佐藤紘毅さんは、各産地と市場情勢を報告。「店頭で悪い物を出さないようしっかり水切りをしてほしい。安定した品質で高値を取ってほしい」と要請しました。

県東部農業事務所普及指導課の番場雅人技師は、今後の害虫対策と夏期高温時の品質管理について指導しました。

ＪＡ管内では、新田地区で約190人が栽培。今年の販売金額３億9000万円を目指しています。出荷は８月末まで続きます。

ＪＡ利根沼田

トマト出荷最盛期迎える

◀出荷に向けて選果基準を確認する関係者

ＪＡ利根沼田管内で、主要農産物のトマトが本格的なシーズンを迎え、沼田市白沢町にある白沢トマトセンターと片品村築地の片品トマトセンターが７月２日、開所式を開きました。白沢の開所式には、シルバー人材センターから派遣されたパート従業員約90人とＪＡ、関係者らが出席しました。

ＪＡトマト部会の小川正部会長は「今年も皆様の協力をいただきながら安心・安全なトマトを安定的に生産していきたい」とあいさつ。

ＪＡの山口宗男常務は「今年も丹精込めて育てたトマトを皆さんのご協力により選果していただき、消費者の方々に届けていきたい」と話しました。

開所式終了後、本格的な出荷に向け作業上の注意や選果の基準などを確認すると、従業員らは早速持ち込まれたトマトの選別に取り掛かりました。

白沢トマトセンターから出荷されたトマトは「夏美人」、片品トマトセンターからは「尾瀬トマト」のブランドで流通。８月上旬にピークを迎え、11月上旬まで稼働します。今年度、ＪＡでは160万６千ケース（１ケース４kg）、販売金額21億円を目指します。

ＪＡたかさき

児童に稲作体験を指導

◀児童に田植えの方法を説明

ＪＡたかさき青壮年部は7月3日、高崎市立南八幡小学校の5年生を対象とした稲作体験教室を行いました。

「食と農が育む体験学習運動」として、食べ物を育てる大変さと収穫の喜びを体験することで、食べ物を大切にする心を養うことを目的に実施し、13年目を迎えました。

体験教室では、大久保亮治副部長が、田植えの方法として、苗を２、３本取り３㎝の深さに丁寧に植えつけるよう説明。

◀熱心に田植えをする児童

児童67人は、青壮年部員とＪＡ職員の指導のもと、はだしで横一列に並び小学校の横にある７aの水田に「ゆめまつり」の苗を植え付けました。

初めての児童も多く「植えるのが大変だったけど面白かった」など笑顔で話しました。

樋口雄太部長とＪＡ職員は事前説明会で「田んぼは環境を守る」や「米が出来るまで」をクイズも交えながら分りやすく説明。田んぼの役割や米に関する知識を伝えました。

児童は収穫まで生育状況を観察。10月には稲刈りや脱穀を行い給食として食べる予定です。

花木流通センター便り

花木流通センターの耳寄りな情報をお届けします！

花木流通センターでは、秋の種ジャガイモと秋植え球根の取扱が始まります。まだまだ暑い日が続いておりますが、種ジャガイモ、球根共に植え時を迎えます。種ジャガイモは数少ない品種とはなりますが、毎年ご好評をいただいております。秋植え球根につきましては、定番のものから海外で育種されている新しいものまでたくさんの種類がそろいます。来年の春に向けて、今から花壇の準備をしてみてはいかがでしょうか。

皆様のご来店、心よりお待ちしております。

8月の売出し・イベント案内

色々な売出しやイベントが目白押し。ぜひお出かけください！

開催日	内　容
8月10日(金)～15日(水)	お盆フェア
8月11日(土)	朝市開催！
8月24日(金)～27日(月)	園芸準備フェア

～講習会等～

開催日	内　容
8月2日(木)・6日(月)	親子で栽培「四角豆(リーフつき)」
8月4日(土)・5日(日)	カラーサンド講習会
8月12日(日)	親子で楽しむエコ工作
8月18日(土)	サンドイッチ講習会 食肉卸売市場　上州牛・上州麦豚試食販売会

※８月14日(火)は休まず営業します。(花木C・愛菜館ともに)
※６月から２月まで毎週火曜定休となります。
※毎週金曜日パンの日…サンドイッチ全品２割引き
※売出し・イベントの日程・内容は変更になる場合があります。

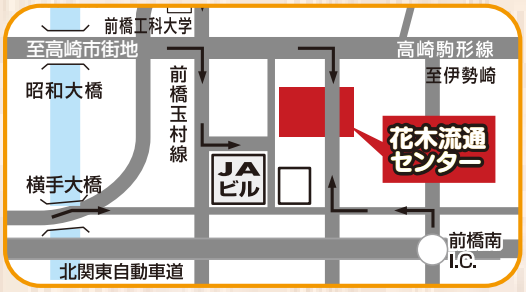
暮らしをもっと花やかに

KABOKU 花木流通センター

営業時間/9:00～18:00
(6月～2月毎週火曜日定休)

取扱商品

■園芸資材館/営農・園芸資材等　■ふらわーらんど/鉢花、花苗等
■JA植木コーナー/緑花木、盆栽等　■エクステージ/外構・造園工事等
■新鮮ぐんまみのり館/産直野菜、農畜産加工品、手作りパン・ハム・食堂等
■外売場/野菜苗、大型肥料・用土、植木鉢等



お問い合わせ先
前橋市亀里町1307-1
TEL:027-220-2427
FAX:027-220-2424

たさいひろば JA直販 愛菜館

営業時間:毎週火曜日定休/9:00～18:00

取扱商品

■産直野菜
農畜産加工品/店頭精米/精肉等

お問い合わせ先
前橋市古市町106-1
TEL:027-210-7788
FAX:027-210-9811

『県本部通信』における個人情報の取扱いについて

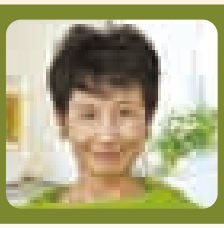
『県本部通信』に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承ください。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。

《あて先》
〒379-2147群馬県前橋市亀里町1310番
JA全農ぐんま「県本部通信」係まで
E-mail：info-gunma@gm.zennoh.or.jp
※JAメール等でも結構です。

プレートをキャンバスに見立てて

Art Cooking



Food adviser
石垣 惠美
1979年から群馬県家の光講師。
FM局等でも活躍中。

鱒の麦とろ麺

材　料

２人分　（1人分653kcal）

麦とろ麺……１袋（200g）
鱒……２尾
青しそ……４枚
オクラ……４本
ゆず皮せん切り……少量
すりごま……大さじ１

つゆ

水……１カップ
麺つゆ……75cc
花かつお……5g

作り方

1 鱒のはらわたを出し、踊りぐしをして、グリルでこんがりと焼き、竹櫛を抜く。（素焼き又は軽く塩焼き）

2 青じそは、せん切りにする。オクラは、小口切りにする。

3 つゆを作る。鍋に水と麺つゆを入れ沸騰したら追い鰹をする。（花かつおを加え）２～３分煮て裏ごしして冷やす。

4 麦とろ麺を茹でる。たっぷりのお湯に麦とろ麺を入れ、６分ぐらい茹でて水にとる。もみ洗いをして水きりし、一口大に丸めて器に盛る。

5 麺のまわりにしそ・オクラ・ゆずの皮せん切りを飾り、**1**の鱒焼きをのせ、つけ汁とすりごまを添え、つゆに鱒・しそ・オクラ・ゆずを麺にからませて食べる。（鱒の代わりに鮎でもよろしいです。つゆは醤油だれでいただき、すりごまを加え、二通りの味を楽しめます。オクラをつゆに入れることでとろみも増します。）

■発行／平成30年８月１日発行　■発行所／全国農業協同組合連合会群馬県本部　管理部企画経理課
■発行人／山口　靖則　〒379-2147 前橋市亀里町1310番地 TEL 027-220-2223 Fax 027-220-2234
■ホームページアドレス／http://www.gm.zennoh.or.jp　■E-mailアドレス／info-gunma@gm.zennoh.or.jp
R100 古紙配給率100%再生紙を使用しています
PRINTED WITH SOYINK この印刷物は大豆インキを使用して制作しています。